

公表日

令和 8年 2月 26日

事業所名

こぼんはうすさくら 中津口教室

保護者等数(児童数) 22名

回収数 17件(割合77%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17					お子様が過ごしやすい環境を維持向上していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2		適宜紹介していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				教室は子どもに分かりやすく構造化されており、見通しを持って過ごせる環境になっていると思います。	引き続き、お子様にとって分かりやすい環境設定を心掛けます。また、個々に合わせた視覚支援を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				面談時やデibroボの写真を見ても、子どもが過ごしやすい環境であることが伺えます。	毎日の清掃、消毒を徹底しております。活動に応じて机を移動するなど、環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				お子様に対しての気付きを職員間で共有し、支援内容を考えております。今後も職員の専門性をより一層高め、支援に反映させてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				公表されているプログラムと支援内容は概ね一致していると思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1				職員間でお子様についての気付きを共有した上で、保護者様へモニタリングの説明を行っております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					お子様の成長には、お子様同士の力が一番の糧になると考えております。引き続き、お子様や保護者様のニーズを中心に支援計画内容を考案し、安心してご利用いただけるように努力してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1				職員間で計画の内容を周知し、計画に沿った支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		1	子どもが楽しく参加できる内容となっています。	職員間で新たなアイデアを出し合い、様々な種類のプログラムを計画しております。お子様の成長段階に応じて、難易度を調整できるなど、多くのお子様に参加できるように工夫をしながら、行っております。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	3	9	地域との交流機会があれば良いと思います。	今年度はそのような機会を設けられなかったため、来年度はそういったイベントを計画していきたいと思っております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					契約時に説明させていただいております。また、ご意見やご質問等はいつでも受け付けております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				計画書を示しながら具体的な技術内容について、分かりやすく説明していただきました。	お子様へ合った支援計画を考案するために、保護者様にも協力いただき大変感謝しております。今後もその時のお子様へ合った計画案内と支援を提供していきたいと考えております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	5	研修等ではないが、面談や送迎時に情報提供していただき満足しています。	来年度は、親子イベントなどを計画したいと考えております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1				デibroボにて、日々のお子様の様子を写真付きでお伝えしております。また、計画の更新時には、直接お話しさせていただき、お子様のご自宅での様子を教えていただいたりしながら共通理解を図っております。
	16	定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	4		1		送迎時にお話しする機会を設け、何かあればお伝えしております。計画の更新時に面談を行っております。また、保護者様発信での面談の機会を検討しております。よろしくお願いたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1				日々、ご自宅での様子などを共有していただき、感謝しております。今後もお子様を安心して預けたいいただけるよう、より一層心掛けてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	5	4	1	7	会がないので。	親子で参加できるイベントや、保護者会などの開催を計画していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1				連絡帳において、保護者様と連携することができ、支援に役立てさせていただいております。送迎時にも、お子様の様子についてお話しさせていただいております。

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				保護者の想いや要望をくみ取り、共通理解が図れるように心がけております。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1			毎日の活動は、タイムラインにて発信させていただいております。また、公式LINEにより、月間スケジュールや、悪天候時の対応などを発信させていただいております。今後も、保護者様にとって分かりやすい発信を心がけていきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1			個人情報の管理は、徹底して行っております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3	1	5	事故防止等のマニュアルが整備されていると説明を受けています。	マニュアルは、事務室に掲示しておりますので、いつでもご覧いただけます。今後も、防災や感染症についての研修や訓練を行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		7	避難訓練が行われていると聞いています。今後も、継続して共有していただくとありがたいです。	教室にて訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			5		災害訓練などの実施について、保護者に周知してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			5	必要な際には速やかに連絡をいただいています。状況説明も丁寧に行っております。	お子様に危険がないよう、環境設定に気を付けております。怪我や音段とは異なる様子があった際には、保護者様へお伝えしております。今後もより一層環境設定を付けるとともに、事故等の発生時には速やかに保護者様への連絡を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2			仲の良い友達ができ、楽しい場所になっています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2		2	とても楽しみにしています。休みの日は行きたがります。	お子様が見せてくれる笑顔や成長に、職員一同感謝しております。お子様が楽しんで通うことができ、成長を感じられるよう、プログラムなどを充実させてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			満足、感謝しています。いつもありがとうございます。	皆様のご意見に感謝するばかりです。今後も楽しみながら参加できる支援内容を考え、実施してまいります。

公表日

令和 8年 2月 26日

事業所名

こぼんはうすさくら 中津口教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		活動内容ごとにエリアを区分し、集団活動と個別活動が干渉しないように空間を構造化している。	活動内容によって、スペースを区切るなど、活動しやすいように配慮している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		個別対応が必要な子どもには、重点的に職員を配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		空間の構造化を行い、活動する場所を明確にしている。また、児童の写真や絵カードを使用し、視覚的に支援している。	今後は各職員が絵カードを携帯し、すぐに提示できるような工夫が必要である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		毎日、清掃を徹底している。また、活動内容に応じて机の配置を変更し、安心して活動できる空間にしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		クールダウンスペースを設け、必要に応じて個別対応が可能である。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12		定期的な会議で目標設定と振り返りを行っている。	支援会議が定期的で開催されることで、更に改善が進むと思う。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			年に1回以上アンケートを実施し、その結果を職員間で共有しているが、フィードバックの方法をより明確にしていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		会議で意見交換の時間を確保している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	6	必要に応じて外部研修や他事業所見学を取り入れている。	定期的な第三者評価の導入を検討する必要がある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		内外研修を計画的に実施している。	専門分野別の研修機会を更に充実させたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		ホームページ上で公開している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		保護者へのヒアリングを丁寧に行っている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		ケース会議で多角的視点から検討している。	会議に参加できない職員がいるため、参加できない職員の考えを取り入れていけるようにしていきたいと思う。
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		絵カードやスケジュールボードを使用する等、支援内容を共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12			様々な方法でアセスメントすることで、子どもにより一層の理解に繋げていきたいと思う。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		保護者面談を通じて、家庭のニーズを丁寧に反映している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		職員会議で子どもの課題を共有し、多職種の視点から活動を立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		月ごとのテーマ設定や季節の行事を取り入れて、変化を持たせている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		発達段階や情緒状態に応じて、個別支援と小集団活動を柔軟に組み合わせている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		毎日の役割分担と留意点を確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12			プログラム内容についての共有も必要である。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		個別療育の記録をとり、共有することで支援の参考になっている。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		保護者と情報を共有し、合意形成を図っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		事前に資料を作成し、情報を整理している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		保育所や教育機関、相談員等と必要に応じて連絡を取り合っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12		園と情報を共有をしている。	園との情報共有を強化する必要性を感じている。相談員を通じて、その機会を積極的に作っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	保護者に対して、就学相談に向けた心理的支援を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	2		今後、検討していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	4		今年度はそのような機会を設けることができなかったため、来年度は検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	12		連絡帳や送迎時の口頭連絡、定期面談を通じて子どもの様子を丁寧に伝え、発達状況や課題について共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3		現状は行えていないので、来年度は計画し、実施していきたいと思う。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に丁寧な説明を行い、質問の機会を設けて理解を確認している。	制度上分かりにくい点もあるようなので、その際は繰り返しお伝えするように努めている。全職員が理解を深め、いつでも対応できるように知識向上にも努めていきたいと思う。
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		計画作成前に面談を実施し、保護者の意向を確認した上で計画を立てている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		計画書を提示しながら具体的に説明を行い、内容を確認した上で同意を得ている。	状況により、保護者のニーズが変わることがあるので、その都度対応できるように心掛けている。
	38	定期的な、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		定期面談に加え、随時相談を受け付け、必要に応じて助言や支援を行っている。	保護者によって対応を変えていないが、相談しづらい方もいらっしゃると思うので、対応方法を考え、それぞれに合わせた対応ができるようにしていきたいと思う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	3	保護者会や参観日などを実施している。	開催できていないため、来年度は開催できるように計画していきたいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		連絡帳、電話、面談、LINE等、複数の相談手段を設けている。	保護者からの相談があった場合は、必ず持ち帰るように徹底していきたいと思う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		写真掲載時には事前に同意を取得している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		個人情報保護方針を策定し、職員研修を実施している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		視覚支援（絵カード、写真カード、スケジュールボードなど）を活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9		来年度は開催を検討したいと思う。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対策マニュアルを整備し、年に2回以上の避難訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		BCPを策定し、自然災害や感染症を想定している。	職員の役割分担を再度確認する必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	1	入所時のアセスメントで健康状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	アレルギーのある子どもについては、職員間で情報を共有している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		安全計画を策定し、年間研修計画に安全研修を組み込んでいる。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	避難訓練や防災訓練の実施を連絡帳で共有している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		定期会議で事例を共有し、原因分析を行った上で、具体的な改善策を決定している。	職員間での共有のタイミングにズレがある場合があるため、周知の方法を検討していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		年に1回以上、虐待防止研修を実施している。また、虐待の定義や不適切な支援の具体例についても共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12		身体拘束適正化委員会を設置し、組織的に検討する体制を整備している。	